

柔軟で多様な学びの場となる新学棟に 目的に応じた多彩な映像・音響機器を整備。



ノートルダム清心 女子大学 様

導入時期：2024年3月
導入地域：中国地方

課題

- ・明るい講義室で映像を鮮明に表示させたい
- ・イベントやグループワークなど多様な用途で映像を使用したい

解決策

- ・高輝度な液晶レーザープロジェクターで明るく鮮明な映像を投写
- ・PressIT、PressIT360の導入で幅広い用途に柔軟に対応

“

学生が主体となって積極的に利用できるスペースを作りたいということで、学内でも初めてになるような新しい設備を導入しています。”

ノートルダム清心女子大学
施設企画管理部 次長
福原 英二 様

背景

100周年の節目に建設された新たな交流と研鑽の場

アメリカから6名のシスターが来日され、ノートルダム清心女子大学様の前身となる清心高等女学校の経営を引き継がれてから100周年にあたる2024年。節目の年を迎えるにあたり新学棟建設プロジェクトが発足されました。日本語で三位一体を意味する「Trinity」を冠し命名された新学棟「トリニティホール」は、国内外の学生・教職員・研究者など多様な人々の交流と研鑽の場を目指し、リベラル・アーツ教育の実践のため、学生が自発的・能動的に使用できるコモンスペースやラウンジ、自由に活用できる設備が設けられた新たな学び舎として2024年3月に誕生しました。

導入した理由

リベラル・アーツ教育の実践のため映像機器を整備

新学棟建設にあたり、情報化・グローバル化が進む社会で活躍できる人材の育成のため、学生が情報を活用し積極的なコミュニケーションを図れるよう、大人数でも少人数でもフレキシブルに利用できるスペースや設備を多く設けられました。「これまではグループ学習であったり少人数で授業ができる設備が少なかったため、そういったところを中心に作ろうというコンセプトでした」（総務部 次長 居森様）。また、講義室などは外光をふんだんに取り込んだ明るい空間に設計。そのため使用するプロジェクターにも十分な明るさを求められました。「明るい教室でも照明を消さずにホワイトボードや手元の教科書、ノートが見えやすいように高輝度な機種を導入しました」（居森様）。

教育・研究を通して真の自由人の育成を追求

登録有形文化財であるノートルダムホール本館・東棟のシンプルで機能的な美しさを受け継ぎつつ、情報化に対応した新たな施設として建設されたトリニティホール。キャンパス南東部に位置し、地上7階建ての学棟は明るくオープンな雰囲気です。学生の自発的な活動を促します。

- 所在地 岡山県岡山市北区伊福町2-16-9
- URL <https://www.ndsu.ac.jp>



▲ シスター来日100周年を記念して建設されたトリニティホール。

講義室向け映像・音響システム

導入後の効果

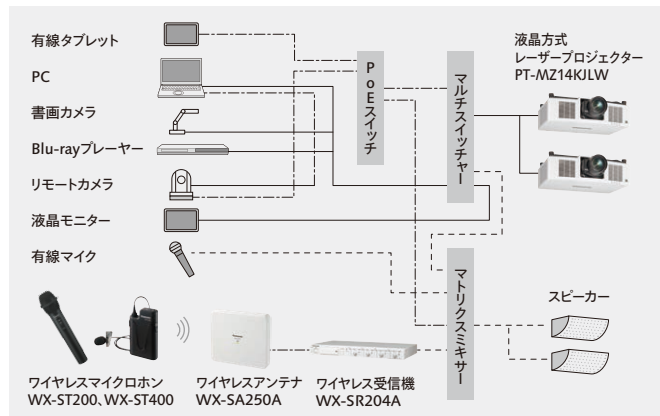
歴史や伝統が息づくキャンパスに誕生した新学棟

ノートルダム清心女子大学様のキャンパスには、1929年に建設され国の登録有形文化財に登録されているノートルダムホール本館・東棟など由緒ある歴史的建造物と、最新設備を備えた教育施設が調和よく並んでいます。トリニティホールの建設では、キャンパスの銀杏並木が見渡せるオープンで明るい空間になるよう、外光をふんだんに取り込んだ開口部を設計。1階ではラウンジスペースを中心に、ソファやグループワークにも適したテーブルが設置され、多くの学生が集い、交流や自習の場として活用されています。

高輝度プロジェクターとワイヤレスマイクで授業をサポート

各階の講義室では14000 lmの高輝度を誇る液晶方式レーザープロジェクターPT-MZ14KJLWが導入されました。「映像がくっきり見えていると思います。太陽光が入ってここまで見えるというのは今までにないですね。児童学科や教養科目では美術系の授業もあるので色再現性の良さも授業に役立つと思います」(施設企画管理部 次長 福原様)。PT-MZ14KJLWは高輝度ながら静音性も特長のひとつです。「従来はプロジェクターの下に座るとファンの音がうるさかったのですが、今回は気になりません。先生や生徒からも騒音に関するクレームはありません」(居森様)。レーザー光源ならではの立ち上がりのスムーズさやメンテナンス性の高さも評価のポイントです。「電源入れてパツとつくというのは圧倒的にいいですね。メンテナンス性も含めて運用上のトラブルが少ないというのもメリットが大きいですね」(情報教育支援センター 係長 宮川様)。また、各講義室には1.9GHz帯のデジタルワイヤレスマイクシステムを導入。授業や会議での複数本を使用するの活発なディスカッションをサポートします。「耳障りの良い音質で混信もなく、すごくいいマイクシステムだと思います」(居森様)。

講義室 システム構成図



画像提供:ノートルダム清心女子大学様

▲ 登録有形文化財であるノートルダムホール東棟の大学聖堂。



画像提供:ノートルダム清心女子大学様

▲ トリニティホール1階のラウンジスペース。明るくオープンなレイアウトで多くの学生が集う。

講義室



▲ 外光が差し込む明るい講義室内でも映像を鮮明に表示。どの席からも見えやすいようにスクリーンの大きさと設置位置が設計された。



▲ 14000 lmの高輝度を誇る液晶方式レーザープロジェクターPT-MZ14KJLW。



▲ 各講義室には1.9GHz帯のワイヤレスマイクを設置し、授業や会議での複数本使用に対応。

導入後の効果

少人数での遠隔授業に最適なPressIT360

6階では少人数でのミーティングやグループワークを目的とされたラーニングコモンズを5室設置されました。海外と繋いだ遠隔授業なども見据え、360度カメラスピーカーフォン PressIT360を導入。「今までは全員がPCを持って配信に参加という形でしたが、これは1台のPCにケーブルを繋げるだけで人物も認識してくれるのでグループワークに適していると思います」(居森様)。「従来から海外とハイブリッド授業をしていましたが、少人数で行う時は机の真ん中にPressIT360を置けば、シンプルなシステムで配信ができるなと考えています」(宮川様)。

PressITで誰でも手軽に大画面に映像を送信

3階のトリニティコモンズでは、大人数でのイベントや講演会、少人数ごとのグループワークなど多様な使用を目的としてフレキシブルな設計が施されました。「学内としては比較的広いエリアで、目的に応じて自由にレイアウトできるなど、空間のコンセプトからかなり検討しました。目的を限定せずさまざまなイベントが開催できるようにと考えています」(宮川様)。また、3面の移動式大型ディスプレイが設置され、空間のどこにいても視認性の高い映像表示を実現。その大型ディスプレイへの映像伝送のため、ワイヤレスプレゼンテーションシステム PressITが採用されました。「複数のPCを切り替えるのにどうにかならないかと悩んでいた時にPressITを提案いただきました」(居森様)。「広い空間のどこにいても映像を写すことができ、PCを置く場所を限定しないということで、いろいろな用途で使うことができるのではないかと考えています」(福原様)と、映像送信の手軽さや柔軟なシステム性に評価をいただきました。



▲ グループワークやイベント、講演会など多様な使用に応じてフレキシブルにレイアウトを変更できるトリニティコモンズ。

ラーニングコモンズ



▲ ラーニングコモンズには、少人数での多拠点授業での使用を想定され、PressIT360を導入。



▲ 話者を検知し分割表示する「集合ビュー」など多彩な映像モードを搭載。

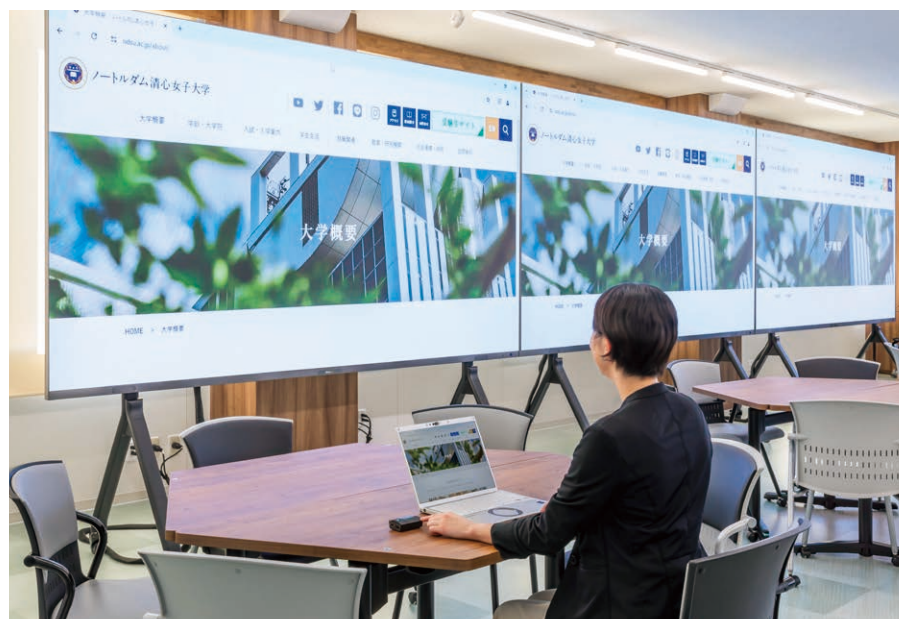


▲ 簡単なボタン操作で映像モードの切り替えが可能。



▲ 必要なケーブルも少なく、机上にすっきりと配置できる。

トリニティコモンズ



▲ 大型ディスプレイへの映像伝送装置としてPressITを採用。PCやタブレットに送信機を接続するだけで簡単に映像がワイヤレスで送信できる。



▲ ボタンを押すだけで簡単に画面共有。端のサブボタンを押すと最大4画面のマルチ画面に変更できる。



▲ 操作卓に設置されたPressIT受信機。

講義室向け映像・音響システム

セント・ヨゼフホール



▲ 230席を有する講堂「ヨゼフ300」のプロジェクターをリプレイス。鮮明な映像を300型相当の大画面に表示。



▲ 後方に設置されたPT-MZ16KJLW、16000 lmの高輝度映像を大型スクリーンに写し出す。



▲ 講義室のプロジェクターのリプレイスも実施され、明るい室内でも映像の視認性が向上。



▲ コンパクトなボディながら5200 lmの高輝度を実現したPT-VMZ51J。

導入後の効果

既設学棟でもプロジェクターをレーザー光源機種に改修

今回の導入ではトリニティホール以外にも、既設学棟セント・ヨゼフホールのプロジェクターのリプレイスも実施されました。講堂「ヨゼフ300」では、300型相当の大型スクリーンへの投写に16000 lmの高輝度を誇る液晶方式レーザープロジェクターPT-MZ16KJLWを導入。「かなり大きなスクリーンなので、それに負けない綺麗な映像をお願いします」（福原様）。また、各講義室ではコンパクトなボディながら高輝度を実現したPT-VMZ61J/VMZ51Jを導入。レーザー光源ならではの電源ON時の立ち上がりの早さも好評をいただいています。

今後の展望

柔軟かつ多様な思考を身につける学び舎として活用

ノートルダム清心女子大学様は、社会的展望をふまえた「ビジョン2039」で示されている「人と世界をつなぎ平和でよりよい未来を創る」を目指すべき姿として、社会課題の解決に貢献していくことを活動指針にされています。そうしたビジョンを実現するため、新学棟トリニティホールは学生や教職員の交流・研鑽の場となり、学生が自らの生き方を考え、新しい自己へと成長するための柔軟かつ多様な学びの場として活用されています。



納入機器



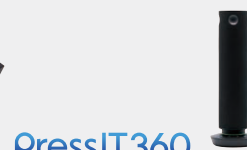
液晶方式レーザープロジェクター
PT-MZ14KJLW ×10台
PT-MZ16KJLW ×1台



液晶方式レーザープロジェクター
PT-VMZ51J ×6台
PT-VMZ61J ×1台



PressIT
ワイヤレスプレゼンテーションシステム PressIT
TY-WPS1 ×1セット (HDMI/USB基本セット)



PressIT360
360度カメラスピーカフォン PressIT360
TY-CSP1 ×2台



ワイヤレスマイクロホン(ハンドヘルド型)
WX-ST200 ×39台
ワイヤレスマイクロホン(タイピン型)
WX-ST400 ×15台



ワイヤレス受信機
WX-SR204A ×14台
増設ワイヤレス受信機
WX-SE200A ×1台



ワイヤレスアンテナ
WX-SA250A ×24台
充電器
WX-SZ200 ×29台

